

慣用句 ②

名前

点数

25

- 1 断腸の思いで出発する。
- 2 彼の説は机上の空論に過ぎない。
- 3 袖振り合うも他(多)生の縁。
- 4 ただ指をくわえて見学していた。
- 5 臨場感あふれる説明に聞き入る。
- 6 春眠暁を覚えず。
- 7 今回の一件は不問に付す。
- 8 壁に耳あり障子に目あり。
- 9 引退試合で有終の美を飾る。
- 10 老婆心ながら申し添えます。
- 11 朱に交われば赤くなる。
- 12 有無を言わせない的確な指示。
- 13 舌先三寸でごまかす。
- 14 相手の言い分が最もで耳が痛い。
- 15 判官びいきの客の心を掴む。
- 16 今更努力しても、焼け石に水だ。
- 17 馬子にも衣装。
- 18 常軌を逸した発言が目立つ。
- 19 彼は心得顔でうなずいた。
- 20 象牙の塔にこもった研究者。
- 21 果報は寝て待て。
- 22 発言を受けて、青菜に塩だ。
- 23 犬猿の仲であった二人の和解。
- 24 掌中の珠である娘を紹介する。
- 25 目を皿にして、紛失物を探す。

- a 自分の弱点について、つらいこと
- b おせっかい・くどすぎる親切
- c はらわたがちぎれるほど辛く悲しいこと
- d 幸運は焦らずにチャンスが来るのを待つしかないこと
たとえ
- e だれでも姿形を整えれば立派に見えることのとたとえ
- f ちよっとしたできごともすべて前世からの困難で起こる
ものだということ
- g いかにも事情はわかっているといった表情
- h 実際にそこで見聞きしているような感じ
- i 否応なしに
- j 心がこもらず口先だけであること
- k 世間一般の人がもつ知識や判断から外れること
- l 過失などをとりたててもんだいとしない
- m どこでだれが聞いているか、見ているかわからないと
いうこと
- n 元気がなくなるさま
- o 交際する相手によって良くも悪くもなる
- p 非常に仲の悪い間柄
- q まるで効果の無いこと
- r 春は気候が良いので寝過ぎてしまうこと
- s 最後までやり通し成果をあげること
- t 目を大きく見開くこと
- u 弱い者を同情・応援すること
- v 理論だけで役に立たない考え
- w 最も大切なもの
- x 俗世間から離れて研究などするさま
- y どうすることもできず、眺めるさま

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
t	w	p	n	d	x	g	k	e	q	u	a	j	i	o	b	s	m	l	r	h	y	f	v	c